

2022年度開講プログラム

プログラムについての問合せ 豊橋技術科学大学 研究推進・社会連携課  
TEL 0532-81-5188 Email jinzai@office.tut.ac.jp



<b>集積回路技術講習会</b>	半導体(LSI)製造工程を設計・製作から評価まで実習を中心に一貫して学ぶ講習会 ● 期日：7月中の連続した5日間(45時間)(対面)
<b>半導体プロセス技術の基礎講習とプロセス実演</b>	半導体製造現場を体感することを目的としたプロセス技術の実演を交えた講習・見学会 ● 期日：随時受付(4時間)(対面)
<b>次世代シークエンサー解析講習会</b>	次世代シークエンサーを用いた微生物群集構造解析実習 ● 期日：9月上旬～9月末の間に1泊2日で実施(2日間(合計12時間)(対面)
<b>技術者養成研修「機械加工実習講座I(初級)」</b>	機械加工を体験し、設計業務に生かしたい技術者向け ● 期日：10月中旬および2月中旬を予定(10時間)(対面)
<b>New</b> <b>技術者養成研修「機械加工実習講座II(旋盤編)」</b>	普通旋盤を使い、基本操作と切削加工(丸棒削り、段付け加工、テーパー加工等)を体験 ● 期日：2022年8月8日(予定)(8時間)(対面)
<b>技術者養成研修「機械加工技術講座」</b>	最先端の機械加工技術について知識を深めたい技術者向け ● 期日：11月の開催予定(1日間)(5時間)(対面または遠隔)
<b>技術者養成研修「組織・構造解析技術講座」</b>	先端の分析機器を使った無機・有機材料の組織・構造解析技術についての講義と実習 ● 期日：2022年9月開催予定(3.5時間)(対面または遠隔)
<b>哺乳類細胞株による形質導入とバイオイメージング実習</b>	細胞の培養から蛍光イメージング技術まで、基本知識と技術を習得するための講習会 ● 期日：4～3月の内の連続3日間 日程は相談(18時間)(対面または遠隔)
<b>アントレプレナーシップ実践講座</b>	【実践コース①】新規事業創出や起業に必要な課題発見スキルと本質思考法の習得を目指す 【実践コース②】スタートアップに必要なアイデア発想スキルの習得と知財創出について考える ● 期日：5/27～9/30(金曜日)開講 90分×7回(対面または遠隔) 10/21～11/18(金曜日)開講 90分×4回(対面または遠隔)
<b>New</b> <b>アントレプレナーシップ基礎・応用講座</b>	【基礎コース】研究シーズや個々で興味のあるテーマからビジネスアイデア創出 【応用コース】SDGs17の目標からテーマ設定し、ビジネスモデルを創出 ● 期日：10/13～12/8(木曜日)開講 90分×7回(対面または遠隔) 12/9～2/10(金曜日)開講 90分×7回(対面または遠隔)
<b>先端データサイエンス実践コース</b>	データサイエンスの基礎から実践的応用までを学べる人材養成講座です ● 期日：2022年10月～2023年1月(全9日)※オンデマンド及びオンラインで実施(55.5時間)(遠隔のみ)



<b>東三河防災カレッジ</b>	南海トラフ地震をはじめとする大規模な自然災害から職場や地域を守る防災人材を育成します ● 期日：長期履修コース2022年10月～2024年3月(1年6ヶ月)(約127時間) 短期履修コース2022年10月～2023年2月(1.5～3時間×16回程度)(約43時間) (1回あたり2～3時間、1回から受講可)※オンライン開催あり
<b>最先端植物工場マネージャー育成プログラム</b>	最先端施設園芸である植物工場の管理・経営ができるIT農業者を育成し地域の活性化を図る ● 期日：2022年12月～2024年2月：教室講義、e-ラーニング、先端施設研修、課題解決技術科学研究(468.5時間)(対面または遠隔)
<b>IT食農先導士養成プログラム(最先端土地利用型IT農業コース)</b>	ITを農業に導入し、地域の担い手となる土地利用型農業の経営ができる人材を育成する ● 期日：2022年12月～2024年2月：教室講義、e-ラーニング、先端施設研修、課題解決技術科学研究(401時間)(対面または遠隔)
<b>東海地域6次産業化推進人材育成プログラム</b>	農業者等が新規参入を検討している企業関連ビジネスなどを設計し意思決定ができる人材を育成する ● 期日：2022年9月～2022年12月：教室講義、e-ラーニング、視察講義(98時間)(対面または遠隔)
<b>実践的キク栽培論・実践的トマト栽培論</b>	キクまたはトマト経営へ新規参入を検討している農業者等を対象に、実践的篤農家による栽培技術を学ぶ ● 期日：2022年12月～2023年3月：教室講義、e-ラーニング キク栽培論70.3時間、トマト栽培論67.9時間(コース選択制)(対面または遠隔)

※プログラムの項目、内容は新型コロナウイルス感染症対応等により予告なく変更される場合があります。受付情報など最新の情報は下記webサイトでご確認ください。  
社会人向け実践教育プログラム一覧 <http://www.sharen.tut.ac.jp/program/list.html>

※BP:文部科学省「職業実践力育成プログラム」(120時間以上のプログラム及び、60時間以上120時間未満の短時間プログラム含む)